

令和3年度 事業計画

第1 シルバー人材センターを取り巻く環境

世界的なコロナ危機の終息が見通せない中、国内の感染者も増大しており、緊急事態宣言による不要不急の外出制限が求められるなど、社会経済の情勢は不透明な状況となっている。国では「G o t o」などの景気浮揚策を進めつつ、ウィズ・アフターコロナの新しい生活様式の定着や新たな働き方改革を推進し、地球規模の環境対策やコロナ危機下の新たな社会構造の変革を展望している。

雇用情勢については、政府が雇用調整助成金の特例措置を打ち出し、パンデミック下での企業は休業手当支払により雇用維持に努めたことから、昨年4月の失業率は僅かな上昇にとどまっている。今後の雇用環境については、感染状況の推移やワクチン接種などの予防対策とともに、経済動向に注視していく必要がある。

令和3年度、国のシルバー事業関連予算は前年度比3.1%減となっているが、シルバー人材センター事業補助金は昨年と同額であり、新型コロナウイルス感染症の影響に配慮し、感染症予防対策の徹底やコロナ禍における就業機会の確保、創出などの強化徹底に重点を置いた予算となっている。

当センターの昨年12月時点での就業実績は、対前年度比で見ると請負で97.6%、派遣で80.1%、合計で91.8%となっており、コロナ禍においても高齢者の果たす役割は大きく、高齢者の福祉増進に資するシルバー人材センター事業の重要性と地域社会の期待は大きなものになっている。

第2 シルバー人材センター事業の今後

令和3年度は、「第4次中期事業計画」に掲げる会員拡大・就業拡大・安全就業の3つの目標に向けて事業推進に取り組んでいくとともに、5か年計画折返しの年度でもあり、計画目標の適正な見直しを検討する。

シルバー人材センターの要となる会員拡大については、県全体でも会員数は減少傾向にあり、シルバー連合会と連携した講習会の企画やシルバー人材センターPRの工夫、非会員も参加できる研修・教室の開催など積極的な取り組みを進める。女性会員の拡大についても、興味をもって参加しやすい開催となるよう促進していく。

また、地域社会の課題解決の担い手として、期待されているサービス事業の開拓を図り、生活支援、空家管理など就業拡大につながる事業化の検討を進めていく。

地域社会の大きな期待に応えるため、中期事業計画の基本理念である「自主・自立、共働・共助」を実践し、安全就業の徹底を図っていく。

事業実施計画

1 雇用によらない就業機会の提供事業

(1) 受託事業

センターの受注した仕事（請負または委任）を会員に提供する。

(2) 独自事業

会員の働く機会を広げるため、会員の自主性、自発性を尊重し、会員グループの創意と工夫により、会員自らの運営を基本に実施する。

① 剪定枝葉処理事業（通称：チップ事業）

・ ゴミ原料リサイクルの一環として、剪定枝葉を土壌改良材に加工し、引き続き資源循環型社会の確立に貢献していく。

② eco 農園事業

・ 野菜は、トウモロコシ、玉ねぎを基幹とし、通年栽培できるハウスや露地栽培による多様な野菜栽培を進める。

・ 自然栽培米は、引き続き同じ圃場での作付けと大豆転作を行い、地力回復の効果を期待し、減収対策を進める。

③ 地域が求める新たな独自事業の発掘を図る。

2 雇用による就業機会の提供事業

(1) 有料職業紹介事業

「臨時的・短期的・軽易な業務に係る就業」を希望する企業の求人を、就職希望の会員及び会員以外の地域の高齢者へ職業紹介する。

(2) 労働者派遣事業

公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会の羽咋事業所として、会員に対して労働者派遣による就業機会の提供を行う。

3 講習・研修事業

会員の資質向上に資するための講習会を開催する。

(1) 剪定技能講習

減少する剪定班員の新規加入と養成のため、剪定技能講習を実施し、知識や技能を学ぶ。

(2) 安全・健康講習

熱中症や毒虫対策はもとより、就業中の事故による応急処置について知識や技能を学ぶ。

(3)安全運転講習の受講奨励 ※他団体主催

会員の安全運転に対する技能向上と意識啓発のため、石川県交通安全協会連合会の実施する「高齢者ドライビングスクール」の参加を奨励し、団体受講する。

4 技能講習等に係る受託事業

石川県シルバー人材センター連合会主催の各種技能講習会を開催し、働く意欲のある会員の就業を支援する。

(1)剪定講習（初級）

公共施設及び企業他の公園や施設等の管理補助スタッフを養成する。

- ①日程 10月開講予定
2日間（座学、実習）

- ②内容 剪定に必要な固有の知識とともに、実習による剪定技能を学ぶ。

(2)刈払機講習

刈払機作業に関する一般的な知識、安全対策を習得する。

- ①日程 春期開講予定
1日間（座学のみ）

- ②内容 刈払機作業の操作方法と安全対策について学ぶ。

(3)空家管理等ドローン操作養成講習

空家調査等での、高所の空中撮影や状況確認のために必要な知識、操作方法を習得し、各種調査での新たな業務スタッフを養成する。

- ①日程 春期開講予定
2日間、2回予定

- ②内容 ドローン操作に必要な規則や実習により固有の知識・能力を付与するとともに調査管理等に必要な知識や方法を学ぶ。

5 上記1～4の事業及びその他の社会活動を推進するための諸活動事業

事業を推進するにあたっては、労働関係法規及び「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を遵守し、「第4次中期事業計画」（令和元年度～令和5年度）に基づき、各事業を実施する。

(1)就業開拓事業

会員の経験、知識、技術、技能等を活かした仕事を確保し提供するため、役員、職員、会員が一体となって機動的に就業開拓活動を展開する。

- ① 理事、就業開拓委員、職員の合同チームによる企業等への訪問活動
- ② 広報媒体（新聞折込チラシ）を利用した新規受注獲得活動
- ③ 地域が求める新たな独自事業の発掘 ※再掲

(2)安全・適正就業事業

会員は、自らの健康状態や能力に応じた仕事を選択し、健康の維持・安全の確保を図りつつ、その仕事を遂行する。その実現に資するため、下記の事業を行う。

- ① 安全・適正就業推進計画の策定
- ② 安全パトロールの実施
- ③ 安全パトロールの結果分析の公表と安全意識の啓発
- ④ 死傷事故防止のため、安全防護具（ヘルメットや安全ベルト等）の着用を奨励
- ⑤ 安全・健康講習の実施 ※再掲
- ⑥ 機関紙「安全だより」を発行し、会員の安全意識と健康管理の啓発

(3)普及啓発事業

シルバー事業の理念及び仕組みを広く地域住民に知ってもらい、会員となることの魅力を発信し、会員獲得を増やすとともに、会員自身の本事業に対する意識を啓発し、会員相互の連帯意識を高めるために下記の事業を行う。

- ① 毎週水曜日に入会者説明会を開催
- ② 会員一人ひとりの協力により、シルバー事業のPRと全国で実施している「第2次会員100万人達成計画」を達成するため、新会員の勧誘活動を実施し、特に女性会員の増加を目指す
- ③ 会員向け機関紙「シルバーだより」、「安全だより」の発行(年4回発行)
- ④ 60歳以上の非会員を対象に、会員とのペア参加による各種講習会等を開催
- ⑤ ホームページなどによる情報発信の充実
- ⑥ 報道機関（新聞、ケーブルテレビ等）への情報提供、市広報紙への掲載
- ⑦ 全国一斉普及啓発促進月間(10月)にあわせて、会員参加による清掃ボランティア活動を実施
- ⑧ 市民へのPRと、会員運営により連帯意識を高めるため、シルバーフェスタを開催
- ⑨ シルバー事業のPRのため、市内のイベント等へ参加

(4)交流研修事業

シルバー事業全般にわたる理解と専門知識の習得により、事業の活性化と適正な運営を確保するため、役職員及び職域班等を対象とした各種研修会を実施する。また、関係団体等の開催する各種研修会へ参加する。

(5)職域班の活性化

会員同士が助け合いながら同じ仕事をする職域班の連携強化を図るとともに、後継者の発掘と育成を行う。

〈法人事業〉

1 総会及び会議の開催

総会及び理事会等定款に定める会議のほか、センター事業を円滑に推進するために必要な各種会議を開催する。

- (1) 定時総会（5月）
- (2) 理事会及び運営委員会（年6回）
- (3) 理事会専門委員会（随時）
- (4) その他

2 公益法人制度への対応

公益社団法人として円滑な事務ができるように、石川県シルバー人材センター連合会や石川県公益認定等審議会事務局等の指導・助言を得ながら事務作業を行う。